

借金の状況

借金（村債）の残高は、一般会計と特別会計を合わせて百二十五億円あまり。新たに借入した額が十億二千七百七十万円、返済した元金が十二億円。残高が一億七千万円ほど減りました。

関川小学校建設事業費の返済が、今後本格化します。村では将来の財政負担を考え、利率の高いものや交付税に上乗せされない借金については、努めて繰上償還や借り換えをすることにしています。

借金

125億4,299万円

（村民一人当たり
186万700円）

元利償還金の約半分の額は、地方交付税に上乗せされます。



積立金

18億7,101万円

（村民一人当たり
27万7,500円）



積立金の状況

積立金の残高は十八億七千万円。村では将来の目的に合わせた積立をしています。

平成二十一年度は、借金の繰上償還のための村債管理基金に一億円、ごみ処理施設（村上市朝日地区）の更新費用などのための環境衛生整備基金に九千二百万円を、それぞれ積み増しました。

ふるさと納税によって寄附していただいた百七十万六千円は、ふるさと応援基金として積み立て。現在、村ではその使い道を検討しています。（ふるさと応援基金の状況は、広報せきかわ八月号をご覧ください）

関川小学校に19億円(平成21・22年度)

4月に開校した関川小学校は、17億円の費用を要しました。また、現在工事中のグラウンドと村民の皆さんも利用できる村民プールの整備費を合わせると19億円を上回る金額となります。

《事業内訳》

- ・校舎 16億7,916万円
- ・グラウンド 7,602万円
- ・村民プール 1億7,884万円

《財源内訳》

- ・国補助金 7億4,798万円
- ・借金（起債）8億3,590万円
（内、5億8,513万円は交付税に上乗せ）
- ・村の財源 3億5,014万円（積立金で対応）

（注）校舎の金額には、旧関小等解体費を含んでいます。また、グラウンド・プールの金額には、設計委託料のほか、平成22年度に契約した工事請負費等を含んでいます。



▶整備が進む関川小のグラウンドと村民プール

健全化判断比率は国の基準クリア

いずれの比率も国の基準を下回っていて、財政悪化の判断基準に達していません。しかし、依然として厳しい財政状況に変わりはありません。村では、社会情勢の変化を踏まえ、引き続き行財政改革に取り組んで、健全な財政運営に努めていきます。（ ）は国の基準

実質赤字比率

該当なし（15.0%以下）

* 一般会計は黒字決算されており、該当ありません。

連結実質赤字比率

該当なし（20.0%以下）

* 特別会計なども黒字決算されており、該当ありません。

実質公債費比率

15.3%（25.0%以下）

* 借金の返済額と財政規模によって算定。事業によって借金の額が大きくなっている下水道事業会計などの分も含んでいます。平成21年度は、一般会計の借金の返済額が減ったため、前年度より0.5ポイント改善しました。

将来負担比率

66.6%（350.0%以下）

* 村が将来負担すべき実質的な負債額と財政規模によって算定。村全会計の借金、積立金のほか、旧岩船広域事務組合の借金のうち村が負担すべきもの、村職員全員の退職手当なども加味されます。第3セクターへの債務補償も含まれますが、自然環境管理公社は皆無です。

主な事業の決算額をお知らせします(一般会計)

議会費

・議員報酬費 3,406万円

総務費

・下関駅業務委託料 586万円
 ・路線バス運行補助金 1,691万円
 ・村づくり総合推進事業補助金 373万円
 ・大したもん蛇まつり補助金 496万円
 ・テレビ難視聴地域対策費 3,326万円
 ・携帯電話不感地域対策費 1,767万円
 ・交通安全・防犯対策費 493万円

民生費

・村上地域シルバー人材センター負担金 211万円
 ・愛宕福祉会補助金 576万円
 ・ゆうあい管理費 2,236万円
 ・社会福祉協議会補助金 2,436万円
 ・地区敬老会補助金 240万円
 ・むつみ荘管理委託料 455万円
 ・はなみの里管理費 190万円
 ・児童館管理費 158万円
 ・老人保護措置費(やまゆり荘) 2,070万円
 ・国保会計繰出金 3,818万円
 ・介護保険会計繰出金 1億3,399万円
 ・後期高齢者医療会計繰出金等 1億 549万円

衛生費

・医療費助成事業費 1,465万円
 ・病院群輪番制病院運営費負担金 165万円
 ・集落健康づくり推進費補助金 121万円
 ・斎場管理費負担金 204万円
 ・ごみ処理対策費 9,123万円
 ・し尿処理負担金 2,116万円

農林水産業費

・農業連絡事務集落委託金 102万円
 ・農業委員報酬 347万円

・地産池消推進事業 25万円
 ・転作推進費補助金 894万円
 ・中山間地域等直接支払交付金 1,155万円
 ・国土調査事業費 1,536万円
 ・県営土地改良事業負担金 3,036万円
 ・林道蛇喰・中束線整備事業 1億3,000万円

商工労働費

・荒川漁協本区・上流区補助金 200万円
 ・商工会補助金 648万円
 ・観光協会補助金 1,281万円
 ・スキー場対策費 850万円
 ・観光施設管理委託料 4,985万円
 ・ゆ～む管理費 6,070万円

土木費

・道路除雪対策費 1億1,953万円
 ・道路維持・改良費 1億6,617万円
 ・国県道整備事業負担金 312万円

消防費

・消防団運営費 2,650万円
 ・消防施設整備費 301万円
 ・村上市消防負担金 1億5,847万円
 ・防災無線整備費 400万円

教育費

・教育委員報酬 131万円
 ・スクールバス運行費 1,589万円
 ・外国語指導助手招致事業 378万円
 ・村民会館・ふるさと会館等維持管理費 2,758万円
 ・広域図書館ネットワーク運営委託料 123万円
 ・国県文化財補修等補助金 9,806万円
 ・歴史とみちの館管理費 722万円
 ・ふれあいど～む管理費 618万円

人件費については次号でお知らせします。

国の経済対策交付金によって行われた事業

		交付金の名称	交付金の額	内 容 (事業費)
平成21年度決算に含まれる事業	平成20年度からの繰越事業	地域活性化・生活対策臨時交付金	1億3,295万円	・除雪車購入(1,794万円) ・村道補修等(2,973万円) ・診療所レントゲン装置購入(1,102万円) ・消雪パイプ布設替(533万円) ・観光看板・観光街灯修繕(1,535万円) ・光冤象改築(762万円) ・橋りょう塗装(4,704万円)
	平成21年度事業	地域活性化・経済危機対策臨時交付金	1億7,545万円	・消雪パイプ布設替(5,040万円) ・揚水場改修補助(90万円) ・道路側溝入替(899万円) ・ゆうあい避難路設置(352万円) ・小中学校パソコン等整備(990万円) ・役場前駐車場整備等(2,860万円) ・プレミアム商品券発行補助(570万円) ・役場マイクロバス等購入(1,157万円) ・スキー場電気設備修繕(993万円) ・役場水防倉庫兼書庫建設等(3,983万円) ・畜産団地堆肥舎修繕(1,314万円)
		地域活性化・公共投資臨時交付金	6,112万円	・携帯電話不感地域解消事業の一部に充当(203万円) ・統合小学校建設の財源の一部に充当(5,909万円)
平成22年度への繰越事業		地域活性化・経済危機対策臨時交付金	1,230万円	・旧役場倉庫撤去(1,325万円)
		地域活性化・公共投資臨時交付金	1億7,286万円	・光通信(地域情報通信基盤整備)事業費の一部に充当(1億5,836万円) ・林道蛇喰中束線舗装事業費の一部に充当(1,450万円)
		地域活性化・きめ細かな臨時交付金	9,615万円	・村道改良・舗装(3,600万円) ・村道側溝布設替等(2,280万円) ・消雪パイプ設置等(3,120万円) ・橋りょう塗装(1,000万円)

(注)それぞれの事業は、交付金のほかに村の財源を付け足して実施しているため、交付金の額と事業費の合計は合いません。